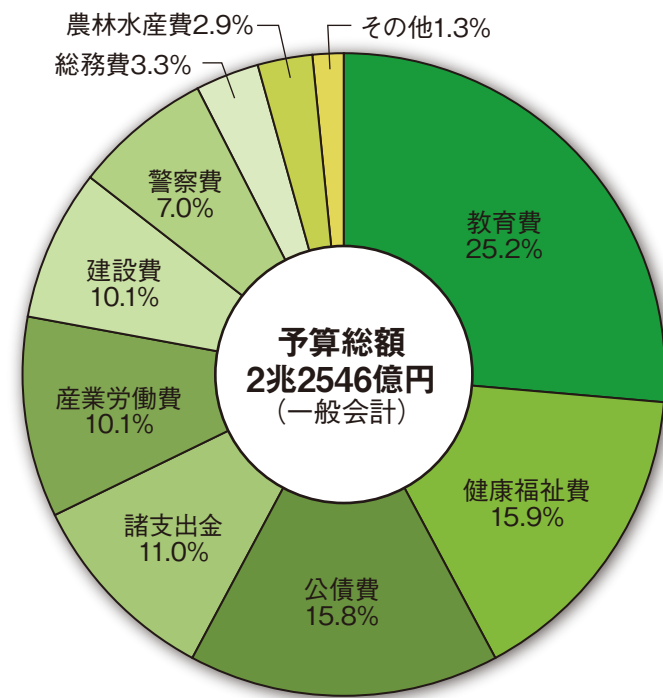


# 新年度県予算のポイント



- エコカーの自動車税5年間免税に**  
平成24年度と25年度に購入したエコカー(電気自動車、プラグインハイブリッド車)の自動車税を5年間免除する。
- 3連動地震の被害予測調査**  
国の被害想定を踏まえて、東海、東南海、南海の3連動地震・津波の被害予測を県独自で実施する。
- 住宅耐震改修に90万円補助継続**  
23年度に引き続き、昭和56年以前の本造住宅の耐震改修費について1戸当たり最大90万円を補助する。
- 会社内に「保育ママ」制度創設へ**  
勤め先の職場内に「保育ママ」のような小規模な保育施設をつくるという新しいモデル事業を実施し、国に提言する。
- 子ども救急、障害者医療**  
あいち小児医療保健総合センターに子ども専用集中治療室を備えた新棟を建設し、心身障害者コロニーも療育医療総合センター(仮称)に建て替える。
- 若者の新規就農に7年間給付金**  
新たに農業を始める45歳未満の人を対象に、最長で7年間、年150万円の給付金を支援する。

## ひび挑戦!

## インターンシップ生(大学生)を受け入れました

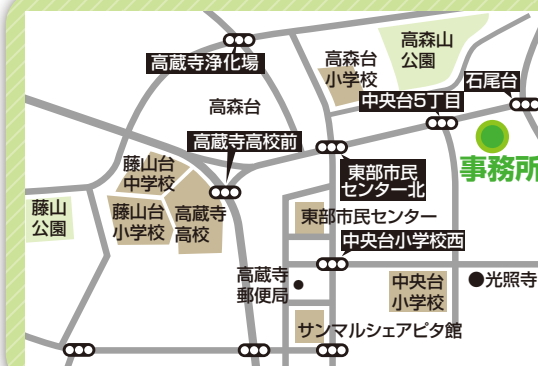
若者と政治を結ぶNPO法人「ドットジェイピー」が企画するプログラムに参加し、2月上旬から、インターンシップ生(大学生)を受け入れました。このプログラムは「大学生が長期休暇を利用して議員と行動を共にすることにより、議員の仕事や思い、政治と社会のつながりを知る」体験学習プログラムです。昨年末に話をいただいた私は、「学生たちのお役にたてれば…」との思いで、引き受けることにしました。2ヶ月間、若い学生たちに働くことの大変さと素晴らしさを伝えたいとの思いで、彼らに接するよう心掛け、非常に充実したひびを過ごすことができました。

受け入れインターン生の紹介

旭 和将くん 名古屋大学経済学部2年  
河合 堯明くん 南山大学総合政策学部1年



左:河合くん 右:旭くん 愛知県西尾市佐久島での調査にて



下記住所に事務所を構えておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

- 住所 春日井市中央台6-7-4
- 電話 0568-70-0594
- FAX 0568-70-0580
- HP <http://www.hibi55.com>

日比たけまさホームページをリニューアルしました!! アドレスも変わりました。



# 日比たけまさ県政レポート 第4号

発行元:日比たけまさ事務所 春日井市中央台6-7-4 TEL:0568-70-0594 発行責任者:日比 たけまさ

## 2月定例議会開催

2月定例愛知県議会は2月20日から3月23日まで開かれ、愛知県の平成24年度予算案をはじめ、県独自のエコカー減税を実施する条例改正案などを審議、可決しました。一般会計で2兆2546億円の予算案は、産業空洞化対策として航空宇宙や環境、エネルギーなどの先端技術分野の新規立地補助(最大100

億円)と中小企業の研究・金融の支援などが最大の目玉。三河湾浄化などの環境施策、地震防災や医療などの「安全・安心」分野にも重点を置いています。一方、法人税を中心とする県税収入は近年で最低の8847億円しか見込めず、大幅な収支不足を基金の底をはたき、4年連続の職員給与抑制で凌ぐという綱渡り状態。県債発行残高はついに、4兆9994億円と5兆円に迫りました。

## 代表質問 中村 友美 団長 (名古屋市緑区選出 7期)

### 知事の政治姿勢について

《Q》 就任2年目の抱負と決意は?

《知事》「日本一元気な愛知、世界と闘える名古屋・愛知をつくる」を掲げた私に、多くの県民から負託を受けた。1年目は大震災や電力不足、円高と多難な年であり、2年目は①産業空洞化対策など経済・産業振興、②環境対策、③県民の暮らしの安心・安全の確保、を重点に進めたい。

《Q》 「中京都構想」はいよいよ内容が不透明だ。具体像を示すべき。

《知事》中央集権を打破して自立した行政運営体制を作るため、大阪、東京の三大都市圏と強く連携したい。今後さらに、「中京独立戦略本部」で議論を積み重ね、姿・方向性を取りまとめたい。

### 県の経済・財政再建に向けて

《Q》 知事は「国からの完全独立」などというが、県債残高は5兆円、基金は枯渇という厳しい県財政の現実をどうするのか?

《知事》地域経済の立て直しにより県税収の回復を図る。国に対しては地方法人特別税の復元をはじめ、国からの税源移譲、課税自主権の強化を求めていく。

《Q》 産業空洞化対策や次世代成長産業の育成にどう取り組むか?

《知事》「産業空洞化対策減税基金」(注:法人税減税分に相当する50億円を積み立て)を活用して、①限度額100億円の「21世紀高度先端産業立地補助金」②中小企業を対象とする「新あいち創造産業立地補助金」を創設する。2月14日にオープンした「あいち産業科学技術総合センター」は、中小企業の新技術、新商品開発に役立てる。国際戦略総合特区への指定を活かして、航空宇宙産業をこの地域の次世代主力産業に育てるべく具体策を起案する。

### 東日本大震災を受けて

《Q》 災害時の帰宅困難者対策の検討状況は?

《知事》東日本大震災の教訓を踏まえ、伝言ダイヤル活用や交通情報などの提供体制を整え、一時的な待機施設も必要となる。企業と協力し、帰宅抑制や食糧備蓄などについても協議している。

《Q》 首都圏、京阪神圏にくらべて遅れている基幹的広域防災拠点はどうなっているか?

《知事》司令塔機能を有するコア拠点(県営名古屋空港、三の丸地区)と物資・人員を集結するサブ拠点(愛・地球博記念公園、新城総合公園、名古屋港)など、分散ネットワーク型で候補地の検討を進め、国に要望する。



## 一般質問 日比 たけまさ 壇上にて初質問！！

(→詳細は日比たけまさHP「ひび挑戦!」にて)

2月29日、初めて県議事堂の壇上にて約40分間にわたり質問をしました。

### 県民幸福度の向上に向けて

昨年11月ブータン国王が来日された際に話題となった「国民総幸福量」について触れた後、現在、日本においても政府を中心に幸福度指標の調査、研究が進んでいることや幸福度を徹底的に追求する姿勢を住民に示し、サービスを飛躍的に向上させた東京都荒川区の取り組み事例を紹介。その後、昨年秋に発表された県民幸福度ランキングにて愛知県が他県と比較し「幸福でない」と評価された「犯罪件数の多さ」や「心の悩みを相談できない人が多い」点に触れ、不安を解消するために県が発信すべき情報や取り組みを確認するとともに県民ニーズの把握方法について質問しました。

### ■防犯対策について

新たに策定する「地域安全戦略」において、県民一人ひとりに講じてもらいたい防犯対策について積極的に情報発信することや、自主防犯団体の活動がより活発になるよう各種講座を設けるなど、犯罪に対する防犯意識の高揚および地域の防犯力向上に資する施策を展開する。

### ■心の悩み相談について

相談窓口として開設している「あいちこころほっとライン365」および県保健所における平成22年度の相談実績は、それぞれ7,747件、16,953件と、多くの相談を受けているが、より積極的な情報発信として、2月26日の新聞朝刊に「タブロイド判パンフレット」を折り込み、相談窓口の周知をしたところである。今後も、心の悩みを抱えている方々や周りの方々が気軽に相談できるような態勢の整備や周知、啓発に取り組んでいく。

### ■県民ニーズの把握について

現在、年1回、3,000名の方に県政世論調査を実施しており、来年度からこの調査を年3回に増やす。



壇上から初質問



高蔵寺ニュータウン

### 大規模住宅団地の再生について

大規模住宅団地の抱える「少子高齢化対応」や「町の活性化」といった課題について、高蔵寺ニュータウンを事例として取り上げた後、全国的に有名な大阪の「千里ニュータウン」や東京の「多摩ニュータウン」では、大阪府や東京都が中心となって再生計画を策定していることを紹介し、県の姿勢および優良な住宅ストックの活用方法について質問しました。

### ■再生に向けた県の姿勢について

地域の実情にあわせ、市町村が主体となって取り組むことが有効であると考え。県としては、地元住民の声を踏まえながら、市町村への助言を行うとともに、市町村相互の情報交換を図る場を設けるなど、でき得る限りの協力をしていく。

### ■優良な住宅ストックの活用方法について

住宅リフォームを促進するため、優れたリフォーム事例を紹介するコンクールの開催や、助成制度などの情報提供、相談窓口の設置などを進める。また、消費者が中古住宅の購入時などに、その品質を知ることができる「既存住宅性能表示制度」の利用促進や、シニア世帯が所有する住宅を子育て世帯などに安価な家賃で提供する「住み替え支援事業」の普及・啓発など、既存住宅ストックの有効活用の促進に努めていく。

### その他の一般質問

#### かしわぐま光代議員(豊橋市選出 7期)

「東三河県庁」、「三河湾再生」、「地域猫」活動推進について

#### 黒川節夫議員(海部郡選出 6期)

「今日の政治情勢に対する知事の思いと知事の三大マニフェスト」について

#### 天野まさき議員(小牧市選出 2期)

「教育行政」、「エネルギー政策」、「健康福祉行政」について

#### 河合洋介議員(知多郡第一選出 1期)

「若年者への就業支援」、「県の有料道路事業」について

## 議案質疑

一般質問に引き続き、本会議にて質問!! (→詳細は日比たけまさHP「ひび挑戦!」にて)

3月6日、平成24年度予算に関する質疑として、愛知環状鉄道の施設整備に係る県の補助金について質問しました。

愛知環状鉄道は県と沿線4市(春日井、瀬戸、豊田、岡崎市)を中心に第3セクター方式で運営する鉄道で、利用者数の増加もあり、現在第3セクターとしては珍しい黒字経営をしている会社です。県と沿線4市は、過去数回にわたり輸送力強化策として出資および補助金を出してきた中、今回は設備改修に係る補助金が組まれたことから、工事内容、補助の必要性、今後の運賃について質問しました。



愛知環状鉄道(高蔵寺駅にて)

### 工事内容

愛知環状鉄道は平成24年度に10億円程度の修繕・設備投資を見込んでおり、このうち県と沿線4市が支援する工事は鉄橋の落下防止工事や高架橋のコンクリート剥離に対する工事などである。

### 補助の必要性

愛知環状鉄道の最近の経営は黒字と赤字が交互して、不安定な状況が続いているうえ、今後は利用者の大幅な増加も期待できない。また、耐震対策、老朽化対策に伴う大規模な修繕、設備投資に係る経費は今後10年間に毎年数億から十数億円と想定され、厳しい経営状況が続くと見込まれる。従って、全ての工事を愛知環状鉄道のみで実施することは体力的に厳しいと判断し、安全安定輸送確保の観点から必要度、緊急度の高い工事について、県と沿線4市が補助することにした。

### 今後の運賃について

経済情勢に大きな変化がない限り値上げの予定はない。

## 委員会関係

(→詳細は日比たけまさHP「ひび挑戦!」にて)

3月13、14日に産業労働委員会が開催され、前回に引き続き県の航空宇宙産業振興策について質問しました。

愛知県の航空宇宙産業にとって、今年は、昨年末に国から指定を受けた「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の具体化、JAXAの実験用航空機「飛翔」の運用による研究開発、10月に開催される「2012年国際航空宇宙展」など、エポックメイキングな年とも言えます。

県からは、関連企業が県に期待する振興施策は、情報提供、人材育成、技術支援であることから、県として情報提供や技術研修などにより、県内中小企業の参入を支援していく施策を継続的に実施する。また「国際航空宇宙展」には、世界中から関係者が数多く本県に来訪されることを踏まえ、海外への販路拡大支援に焦点を当てた取り組みを進めるとともに、多くの県民に参加いただけるよう、県、名古屋市、経済団

体を中心に支援会議を設置し、広報活動を始めとした取り組みを実施していくとの回答を得ました。

その他、これまでの委員会にて質問してきた若者学習支援人材育成事業(日本版ティーチフォーアメリカ)および県の観光事業としての「あいち戦国姫隊」の継続実施について、これまでの評価と今後への取り組みについて確認しました。



JAXA研究施設